



発行：公益財団法人国際労務管理財団（IPM）

東京本部 〒160-0022 東京都新宿区新宿1-26-6 新宿加藤ビルディング7F

http://www.ipm.or.jp/ TEL：03-3354-4841(代) FAX：03-3354-4847

日越人材育成フォーラム2022 inハノイを開催しました

TOPICS

ページ

日越人材育成フォーラム2022 inハノイを開催しました	1
在ベトナム日本大使館を理事長池田が訪問しました	2
ベトナム ハティン省 人民委員会との意見交換会	2.3
Ha Tinh省に浄水装置の引き渡しを行いました。	3
ピックアップ実習生！	4
受け入れワンポイントアドバイス	
IPM作文コンクールの作品を募集中です！	

10月10日、コロナで開催が延期されておりました人材育成フォーラム(在ベトナム日本大使館等 後援)をハノイ市で開催いたしました。前半は理事長 池田英人より「日本におけるベトナム人材の受入れについて」と題し、目的別在留人数など、日本のベトナム人材受入れ状況を紹介いたしました。後半は、「日本の化粧品関連企業における国際社会貢献事業」として、東南アジアで事業展開する日本企業（株）資生堂、（株）マンダム、（株）ハインネット、東洋ビューティ(株)、（一社）ジャパンコスメティックセンター、（一社）日本ケアネイル協会）より、自社が展開する社会貢献事業のご紹介を頂きました。参加された皆様に、日本企業の社会貢献事業への理解を深め、親近感を持っていただけました。今回は、女性の参加者が多く、日本の美容への関心の高さがうかがえました。



(写真左)
理事長 池田英人

(写真右)
在ベトナム日本大使館
一等書記官
石井悠久氏

在ベトナム日本大使館を理事長池田が訪問しました

10月7日、理事長 池田英人が在ベトナム大使館を訪問し、一等書記官石井悠久氏に10月10日開催予定の日越人材育成フォーラム2022inハノイへのご参加をお願いいたしました。大使館側からは、在ベトナム日本大使館でのビザ発給は、コロナ前と比較すると落ち着いており、コロナ前のような殺到ぶりは見られない等、技能実習及び特定技能を取り巻く状況について、情報及び意見交換を行いました。また、今回のような人材交流イベントを来年の日越国交正常化50周年にも継続的に開催し、日越交流を進めて欲しいとの話を頂きました。



ベトナム ハティン省 人民委員会との意見交換会

10月12日、理事長 池田がハティン省人民委員会副委員長のル・ゴック・チャウ氏と2021年に締結した連携協定の進捗状況の報告と今後の活動について意見交換を行いました。ハティン省からは、日本からの投資誘致の支援、現在行われている日本語教育及び浄水装置の継続的支援の提案がありました。特に、現行のハローワークの職業訓練プログラムにおける、オンライン会話授業については、ハローワーク所長Huong女史より「講師陣がすばらしく、受講者も喜んで学習しているので、授業時間を増やし、日本語だけでなく、マナーやルールについてのプログラムを追加してほしい」との意見がありました。



Ha Tinh省に浄水装置の引き渡しを行いました。

Duc Thanh（ドゥック・タイン）小学校との中継 引渡し式

8月31日 16:00よりオンラインでの浄水装置修理後の引き渡し式を挙行了しました。

現地では、Ms Pham Thi Tuong校長及び先生方、浄水装置メンテナンス担当者、父兄代表と児童代表にご参加頂き、IPMからは、理事長 池田、専務理事 神下、職員数名が参加しました。

当日はHa Tinh省在住のソン顧問より同小学校から中継を担当頂きました。直前まで大雨だったのですが中継が始まるや外は晴れ渡り、鮮やかな映像が映し出されました。

冒頭、理事長の挨拶では、2013年9月17日に挙行された浄水装置の贈呈式にJIFAのスタッフとして実際に参加した経緯をお話しました。当時の学童は家から持参した水は午前中には無くなってしまい、午後の授業や帰りの時間には又茶色に濁った水を飲まざるを得ない劣悪な環境だったとの内容でした。



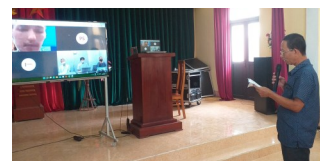
Ms Pham Thi Tuong校長からのお礼発表

Ms Pham Thi Tuong校長より、「児童の嬉しそうな顔を見ると安心する」と大変感謝して頂きました。

既に校長からは、修理完了後における自主的なメンテナンスのための要員の確保や年2回の浄水装置の稼働状況をチェックリストに基づいてIPM

へご報告する旨の誓約書を受領済で、今回の引渡し式を大変喜んでいただきました。

続いて父兄を代表しての挨拶があり、最後に250人の生徒を代表して、小学校3～4年生ぐらいの男の子からお礼の原稿が読み上げられました。一字一句、大きな声で力強く、「貧しいけれど、この水で健康になれる、力が出せると思う」、「将来は日本へ行って勉強したい」、「ちゃんと故障しない様に見守り、長く使えるよう誓います」、そして最後は、「池田理事長の10月の訪問をお待ちしています」と元気よく発表してくれました。



生徒父兄会会長がお礼を発表



生徒代表の感謝発表

その後の中継は実際の浄水装置のサイトに移動し、コップに入れた浄水装置からの水をカメラに向かって嬉しそうに飲んでいる映像が次々に流れました。学童や先生方の表情も豊かで貴重なセレモニーとなりました。



浄水された水を
直接飲む生徒たち

Xuan My小学校・Xuan Loc中学校訪問（10月11日）

【Xuan My小学校訪問】

学童の服装も綺麗で、教室の後ろ側には通学自転車用ヘルメットが積み上げられている状況を見て「浄水装置を贈呈したころ



の学童は歩いて学校に通っていたのになあ」と様変わりの速さに驚きました。また、何と水道水が学校施設まで引かれ今回修理した浄水装置は水道水を浄化して「美味しく飲んでい

【Xuan Loc中学校訪問】

校長先生や関係者との挨拶と交流を済ませた後、生徒代表の女子生徒にインタビューをし色々な話を聞くことができました。まず、インタビューの初めに、「今年の9月5日から新学期

が始まったが、IPMの浄水装置の修理が早く終わったおかげで、綺麗で美味しい水が飲めるようになった、本当に嬉しい。」と、明るく笑顔で語ってくれました。浄水装置の修理前は、水を入れた自分用のボトルを家から持参して学校で飲んでいたり、暑い日には学校に徒歩で通っている生徒が水をたくさん飲むので、学校の水が不足していたことを話してくれました。将来の夢は何ですかと聞くと「外国に留学すること。もし日本に留学したら、卒業後はIPMで働きたい」と力強く語ってくれました。そして最後にIPMへ「財団が将来もっともっと大きく発展することをお祈りしています」と力強く述べてくれました。まだ中学生で若いのに、インタビューへの対応はすごく丁寧で自信にあふれていました。笑顔をたやさず明るく前向きな姿勢はとても好感の持てるインタビューとなりました。



ピックアップ実習生！



今回は、2022年7月の日本語能力試験1級に合格した「社会福祉法人水光会 しらぬい荘」様にて実習中の王さんにインタビューをしました！王さん改めておめでとうございます！

Q.何年間日本語を勉強していますか？

A.大学2年の時から勉強を始めました。勉強を始めて6年になります。特に、実習を始めた2020年12月24日から

の2年間は、介護施設の職員の方々や利用者の方々との会話で生きた日本語の勉強が出来ました。

Q.勉強で大変だったことは何ですか？

A.実習開始直後の熊本弁（方言）です。「～ばってん」や「ひもじい」など、全く言葉が理解できずこれは日本語か？と目を白黒させました。しかし今では、熊本弁は得意になり利用者の方々とは方言で話しています。

Q.日本語の勉強を始めたきっかけは何ですか？

A.日本のアニメやドラマを日本語で見たいと思ったのがきっかけです。特に、俳優の小栗旬さんが大好きで、彼のドラマを中国でも良く見ていました。また、日本のラジオや小説も日本語で聞いたり読んだりしたかったからです。

Q.職場で日本語を使うことは大変ですか？やりがいがありますか？

A.大変ではありません。特に利用者の方々に体調を尋ねたりする際には、標準語より方言で話しかけたほうがより一層お話をさせていただけると感じています。方言で会話することで、利用者の方々が心を開き、より良い介護のサポートができることに大きなやりがいも感じています。利用者の方々とは体調だけではなく、色々な会話をするように心がけています。よく、好きな食事や買い物、旅行、趣味などの話を聞かれます。時には、「結婚はいつね？どきやんね？良か人はおるとね？」と聞かれて答えに困ることもあります（笑）私は、日本を旅行することが趣味なので、お勧めの旅行先などの情報収集もよく行っています。

Q.今後の目標は何ですか？

A.日本語検定の1級の上のレベルに挑戦するつもりです。日本語のレベルをもっと高めるために、勉強を続けたいと思っています。日本の歴史が大好きで、戦国時代の伊達政宗や織田信長についてもっと学び見聞を広げ、今後の仕事の選択を広げていきたいと思っています。

受け入れワンポイントアドバイス

今回の受け入れワンポイントアドバイスは、実習生と接しているときに「言葉のヤマ」を乗り越えるための一つの工夫を紹介しようと思います。

私が担当している実習実施機関では、全員中国からの実習生で、日本語の能力がN4にもなっていない人がほとんどです。彼女たちにとっては、日本語のひらがなやカタカナより、漢字の方が得意で理解しやすいです。

そのため、中国籍の方の場合よく仕事の現場で見られる『KYT（危険、予知、トレーニング）』のトレーニング時は、カタカナから漢字に言葉を書き換えると覚えやすいです。

国籍に関わらず、母国語話者が使う言葉は母国語話者以外には伝わりにくいので、仕事の現場や日常生活の中で「やさしい日本語」で表現するように工夫をすると、意思が伝わりやすくなります。例えば、以下の長文を実習生に伝えたいときはどのように直したら良いと思いますか？
【会社の正門入り口から入ってすぐ左側にある建物が事務所ですが、玄関はただいま整備工事を行っているため、駐車場側の入口からお入りください。】

この文章には、1文の中にさまざまな内容が含まれているため、複雑になりすぎて意味がわからなくなります。できるだけ文章は短く言い切ってしまうと伝わりやすくなります。

- ・事務所は正面入口の左にある建物。
- ・玄関は今使えない。
- ・駐車場の入口から入る。

上記のような案内をするときに、もちろん実際に同行することや、言葉の分かる監理団体の職員にサポートしてもらう方法もありますが、これからも実習生たちがより安心・安全して働くためにも、やさしい日本語の使用は監理団体と実習実施者にとって必要な工夫だと思います。

出入国在留管理庁・文化庁からは「在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン」も発行されていますので、必要の方は是非ご活用ください。



ガイドブック

在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン
https://www.bunka.go.jp/seisaku/kokugo_nihongo/



文化庁HP

「在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン」
https://www.bunka.go.jp/seisaku/kokugo_nihongo/kyoiku/92484001.html

IPM作文コンクールの作品を募集中です！



最優秀賞
10万円！

**IPM日本語
作文コンクール
作品募集！**

スケジュール	参加の方法・条件
- 募集開始日…9月1日から - 募集締切日…11月30日まで - 結果発表日…年明け頃	- 原稿用紙（20×20）3枚 - テーマは自由 - 作文を会社の人がIPMの人に提出

日本に来てからインパクトのあったこと、毎日感じていること、日本に来てから変わったことなど興味深い刺激的な作文を書きましょう！
沢山の方々の応募お待ちしております！

公益財団法人国際労働管理財団（IPM）

前回のIPMニュースでもお知らせしていますが、IPM作文コンクールの応募が9月1日から始まっています！

まだ迷っている方がいれば是非挑戦してみてくださいね！

◆スケジュール

・**応募締切日…11月30日（水）**

・結果発表…年明け頃

◆参加の方法・条件

・原稿用紙（20×20）3枚

・テーマは自由です！

・提出先…実習先企業 or IPM担当者

◆**最優秀賞は10万円！！**

◆担当者からのメッセージ

日本に来てからインパクトのあったこと、毎日感じていること、日本に来てから変わったことなど興味深い刺激的な作文を書きましょう！

沢山の方々からの応募をお待ちしております！



●次回は2023年2月1日発行予定です